



まきたま

No. 38

平成20年(2008年)

1/15



少年少女念仏踊り

長井市立伊佐沢小学校

伊佐沢小学校の4年生、5年生、6年生は、総合学習の授業に念仏踊りを取り入れています。色々な役のパー、があることや昔ながらの踊りのため練習は厳しいですが、伊佐沢念仏踊保存会の方に教えてもらいながら、授業の他にも平日の夜や休日にも一生懸命練習をしています。

毎年3回、9月の地区の運動会、10月の小学校の創立記念日、11月のおいたま往訪の際の時に、3学年全員で踊りを発表しています。

伝統芸能を受け継いでほしいという願いから始まった少年少女念仏踊りは、来年度の50周年を迎えます。小学校で念仏踊りを踊って、大人になってから保存会に入る人、小学校で教えてくれる人も増えて、親子で同じ役のパートを踊る人もいます。地区では毎年踊るのを楽しみにしている人も多く、下級生も自分たちが踊る目を楽しみにしています。

2月末から3月初めには、卒業する6年生から3年生に念仏踊りの道具を渡す「念仏委譲式」があり、伊佐沢小学校の先輩から後輩へと受け継がれています。

人事行政の運営の状況

平成18年度における本組合職員の給与、職員数、勤務条件など、人事行政の運営の状況について、概要をお知らせします。

1 総括

(1) 人件費の状況（平成18年度普通会計決算）

歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
4,179,686 千円	49,534 千円	775,471 千円	18.6 %

(注) 人件費には特別職に支給される給料及び報酬を含みます。

(2) 給与費の状況（平成19年度一般会計予算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 E/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 E	
92 人	367,796 千円	67,423 千円	149,261 千円	584,485 千円	6,353 千円

(注) 給与費は当初予算に計上された額です。職員手当には山形県市町村職員退職手当組合負担金を含みません。

2 一般行政職の平均給料月額等の状況（平成19年4月1日現在）

(1) 平均年齢・平均給料月額 の状況

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	41歳8月	327,302 円

(2) 経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	経験年数		
	10～15年	15～20年	20～25年
大学卒	294,200 円	342,000 円	該当職員なし
高校卒	237,800 円	260,200 円	308,000 円

(3) 級別職員数の状況

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事・技師	主任	主任	係長・主査	課長・補佐	事務局長・課長	
職員数	14 人	18 人	10 人	28 人	3 人	7 人	85 人
構成比	16.5 %	21.2 %	11.8 %	32.9 %	9.4 %	8.2 %	100 %

3 職員手当の状況

(1) 期末・勤勉手当（平成18年度支給状況）

置賜広域行政事務組合			国	
(1人当たり平均支給額)			1,621 千円	—
(支給割合)	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
	2.85 月分	1.35 月分	3.0 月分	1.45 月分
(加算措置の状況)			(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置			職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(2) 退職手当（平成18年度）

区分	支給率				退職時の特別昇給	その他の加算措置
	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額		
自己都合	23.50 月分	33.50 月分	47.50 月分	59.28 月分	—	—
勲 奨	30.55 月分	41.34 月分	59.28 月分	59.28 月分	—	有
定 年					—	—

(3) 時間外勤務手当

区分	平成18年度決算	前年度決算
支給実績	6,406 千円	7,400 千円
1人当たり平均支給年額	76 千円	85 千円

(4) 特殊勤務手当

区分		全職種
支給実績（平成18年度決算）		3,396 千円
1人当たり平均支給年額（平成18年度決算）		73,815 円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成18年度）		48.4 %
手当の種類（手当数）		4 種類
手当の名称	主な支給対象業務	支給単価
清掃業務手当	し尿又はごみ処理業務	日額 2,000 円
危険手当	①し尿処理施設の投入槽、貯溜槽、曝気槽、浄化槽等の清掃、点検、整備等の業務 ②ごみ焼却炉の炉内、煙道等の清掃、点検、整備等の業務 ③粗大ごみ処理施設の破砕機内部等の清掃、点検、整備等の業務	日額 1,500 円
職務手当	し尿、ごみ処理施設の技術管理者、電気主任技術者、ボイラータン主任技術者の業務	日額 100 円
交替制勤務手当	クリーンセンターでの交替制勤務	1回 1,000 円

〔注〕「手当の種類」以下は、平成19年4月1日現在です。上記以外の特殊勤務手当（養護ホームに勤務する職員に対して支給する職務手当、現金取扱手当及び死体取扱手当）は、条例で支給を凍結しています。

(5) その他の手当

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	（平成18年度決算）	
				支給実績	1人当たり平均支給年額
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外は1人につき6,000円など	異		千円 12,367	円 220,839
住居手当	借家 上限27,000円 持家 3,000円	異	持家は、5年間2,500円	3,486	68,353
通勤手当	交通機関利用 上限55,000円 交通用具使用 上限29,000円	異	交通用具使用の上限24,500円	10,105	116,148

4 職員数の状況

(1) 部門別職員数（各年4月1日現在）

部門	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	前年	平成19年		
総務	13人	12人	△1人	組織変更に伴う減員
民生	21人	20人	△1人	人員配置是正に伴う減員
衛生	59人	60人	1人	ごみ受付業務の正職員化に伴う増員
計	93人	92人	△1人	

(2) 職員の採用・退職の状況

（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	事務職	技術職	技能労務職	計
採用		1人		1人
退職		1人		1人

5 勤務時間その他の勤務条件

(1) 勤務時間等の状況（標準的なもの）

1週間の勤務時間	勤務時間の振り振り					休日
	始業時刻	終業時刻	休憩時間	休憩時間	週末日	
40時間	8:30	17:15	12:00～12:15 17:00～17:15	12:15～13:00	土曜日 日曜日	・国民の休日に関する法律に規定する休日 ・12月29日から1月3日までの日

〔注〕クリーンセンターや養護老人ホームの勤務場所では、上記と異なる勤務形態の場合があります。

(2) 主な休暇の種類と内容

区分	内容
年次有給休暇	1年につき20日（20日を逐日に翌年に繰越すことができます。）
病気休暇	職員が負傷又は疾病のため療養する必要があり、その勤務しないことがやむを得ないと認められる場合に、その都度必要と認められる期間
特別休暇	選挙権の行使、結婚、出産、子の看護、交通機関の事故その他の特別の事由により職員が勤務しないことが相当であると認められる場合に、その都度必要と認められる期間

(3) 年次有給休暇の状況（平成18年）

1人当たり平均取得日数
9.7 日

置賜 風俗 賜 遺跡 再 発見 自然 見

郷土芸能 第11回

ふるさとへの心をこめこめる

次の世代に残したいもの
いつまでも語り継がれていくもの
家族や地域をつなげるきずな
はじめて出会ってもなぜか懐かしさを感じる
遠い記憶のどこかにある情景
それは私たちの「ふるさと」にあります

本組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。
ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。
第十一回目は「置賜の念仏踊り」です。先人の願いや喜びを表した念仏踊りを見に行ってみませんか。

置賜の念仏踊り

置賜地域には、長井市、両陽市、高島町、飯豊町の4つの市町に念仏踊りがあります。素材であり風流化していない東置賜に対し、西置賜は役も多く豪華で風流化しています。

今回は、長井市の伊佐沢念仏踊り、飯豊町の椿念仏踊り、南陽市の鍋目念仏踊りを紹介します。

伊佐沢念仏踊り

歴史

伊佐沢念仏踊りは、室町時代に主林寺が創建された時、落慶供養に踊りが奉納されたのが始まりと伝えられています。

この念仏踊りは、鎮花祭の意味



伊佐沢念仏踊り

をもつ豊年踊りでもありません。桜の花は稲の花の象徴とされ、早く散れば不作の知らせと考えられていたため、桜の花が順調に咲き続けるように踊りにこめて鎮める意味がありました。

また、散る花びらは、病をもたらず悪霊になるという信仰もあつたので、大勢の踊りによって踏み躪め、悪霊を祓う意味もありました。
昭和61年には、山形県の無形民俗文化財に指定されています。

踊り方

踊りは、行司・相撲・烏毛・奴・沈・花笠・四つ竹・道心坊・面すりなどの色々な役があり、役ごとの衣装を身に付け、太鼓や笛の音に合わせて大きな輪を作って踊ります。

大名行列の要素(相撲、烏毛、奴)と歌舞伎的要素、そして念仏踊りの要素が合わさっていることと、笛や太鼓のメロディーはありますが、二、三の掛け声を除いては歌詞がないのが特徴とされています。

現在と伝承

現在は、伊佐沢念仏踊保存会で、4月の第4土曜日の夜に、伊佐沢小学校グラウンドで踊りを披露しています。

その他にも、伊佐沢小学校の4、6年生に、伊佐沢少年少女念仏踊りとして踊りを教え、伝える活動にも力を入れています。

椿念仏踊り

歴史

椿念仏踊りは、江戸時代中期に、椿大福寺境内の薬師如来堂再造營を機に始められたと伝えられています。

この念仏踊りは、一切の衆生、罪深いとされる女人でも、敵討ちで人を殺めた者でも、全ての人が阿弥陀如来を信じることで救われるとされ、その喜びの様子を舞いや鳴物で表したものとされています。



椿念仏踊り



伊佐沢念仏踊り：花笠



伊佐沢念仏踊り：枕



鍋田念仏踊り

◆お待ちしております◆

シリーズ置賜再発見では、置賜の風俗、遺跡、史跡、自然、郷土芸能などを紹介する予定です。

みなさんからの情報をお待ちしております。
置賜広域行政事務組合総務課企画係
〒992-0012
米沢市金池三丁目1番55号
TEL:0238(23)3246
FAX:0238(24)4659
E-mail:kikaku@okikou.or.jp

取材協力及び写真を提供いただきました。
長井百富二観光課、伊佐沢地区公民館、
小松 茂雄さん(飯豊町)、戸田 藤男さん(南陽市)、
南陽市教育委員会事務局

ます。阿弥陀如来から薬師如来に結びつけ、形を変えることなく伝承しているところが特徴です。昭和53年には、町の無形民俗文化財に指定されています。

踊り方

踊りは、「椿念仏踊り」と書いた纏を中心に、奴・花笠・四つ竹・蝶々・仇討ち・角力・傘・面すりなど色々な役があり、笛、太鼓の「ながし」「甚句」の曲目に合わせて踊ります。昭和25年頃までは、男性だけ踊ることを許されていましたが、今は女性も子供も一緒に踊っています。

現在と伝承

飯豊町には、「高峰念仏踊り」「小川念仏踊り」「椿念仏踊り」の3つがありますが、高齢化が進んで伝承する人が少なくなり、実際に

活動しているのは椿念仏踊りだけになりました。椿地区では、区民会の大きな支援を得て、その伝承に力を入れていきます。飯豊第二小学校の5、6年生に夏休みを利用して踊りを教え、毎年8月14日に地区内8ヶ所を椿念仏踊り保存会の会員と一緒に踊っています。

鍋田念仏踊り

歴史

江戸時代(安永二年)、上杉鷹山公は、干ばつに見舞われた北条郷(南陽市)に「太念仏」と書いたのぼりを贈り、雨乞いの祈りをさせ、併せて松川から水を汲み上げて干害対策を行いました。干ばつで苦しんでいた農民たちは流れてくる用水に感謝し、鷹山公

が贈ったのぼりを先頭に踊り続けて、大符神社に奉納したのが鍋田念仏踊りの始まりと伝えられています。昭和43年には、市の無形文化財に指定されています。

踊り方

踊りは、雨を願う「道行き」と雨に感謝する「入れ葉」の2由で笛と太鼓の楽隊と踊り子とで構成されます。ねじり鉢巻きや手ぬぐいを振り、日の丸の扇子を持って、青い法被を身にまといまわります。「太念仏」と書かれたのぼりを先頭に長い列を作って境内に入って、大きな輪になり「ソレハサ、ドッコイショ」という威勢のいい掛け声で、太鼓や笛に合わせて踊ります。太鼓が「デンデコデン」と鳴り響くので、「デンデコ踊り」とも呼ばれています。

現在と継承

鍋田地区には、念仏講があり、保存会会長、顧問、旗頭を中心に、4月15日に行われる祭りの準備をします。当日には、地区住民100名程と総合学習に念仏踊りを取り入れて、沖郷小学校の生徒70名程が参加し、大変賑やかに踊ります。

後継者育成と地域の文化を知ってもらうため、沖郷小学校の生徒に踊りを教えたり、若い人にも楽器隊や踊り子として参加してもらったりと、これからもずっと続けていくための活動をしています。

それぞれの念仏踊りに、歴史があり、地域に根ざしています。先人たちの願いと喜びを表している念仏踊りを、これからも大切に継承していきましょう。

おきたまニュース

ごみ処理料金(直接持ち込み)値上げのお知らせ

千代田、長井クリーンセンター及び小国リレーセンターに直接ごみを持ち込む際の料金は、平成9年10月1日に10kgあたり100円に値上げしてから10年が経ちました。

平成9年度と平成18年度のごみ処理費用を比較すると、ごみ量が増加したことや平成14年度から始まった資源ごみの分別リサイクル、その他の要因から増大しています。

そのため、ごみ処理事業の安定的な運営を目指す必要から、適正な料金の検討を重ねてきましたが、平成20年4月1日から10kgあたり150円に値上げをすることになりました。

また、近年は、資源ごみを分別しないで各クリーンセンター等に直接持ち込む方が増えていますが、マイバックを利用するなど、ごみとなるものをできるだけ家庭に持ち込まないことや、分別をしてリサイクルすることは、ごみ減量化の第一歩です。

『分ければ資源、混ぜればごみ』、ごみの分別と減量化に、ご理解とご協力をお願い致します。

直接ごみを持ち込む際の料金

平成20年3月31日まで 10kgにつき 100円	→	平成20年4月1日から 10kgにつき 150円
------------------------------	---	-----------------------------

○問合せ先

千代田クリーンセンター Tel 0238(57)4004

長井クリーンセンター Tel 0238(84)6911

※指定ごみ袋の料金は、変更ありません。

指名競争入札参加登録申請の受付について

本組合の指名競争入札参加の登録申請を次のとおり受け付けます。

なお、申請区分により有効期間及び受付期間等が異なりますので、ご注意ください。

詳細はホームページをご覧ください。

◆①建設工事、②測量・建設コンサルタント

有効期間…①②とも平成20年度のみ

隔年制のため、追加登録を希望される方が対象
(平成19年度に登録済みの方は申請不要)

受付期間…平成20年2月1日(金)～2月20日(水)

◆③物品納入・役務提供

有効期間…平成20・21・22年度(三カ年度)

定時登録のため、登録を希望されるすべての方が対象

受付期間…平成20年1月15日(火)～2月5日(火)

※①②③いずれも郵送可、当日消印有効

●申請要領及び必要書類等

次の方法により配布します。

①本組合ホームページからダウンロード

(URL:<http://www.okikou.or.jp/>)

②本組合総務課又はクリーンセンター等各施設で直接配布

③郵送により配布(申請区分を明記し、80円切手を貼付した返信用封筒を本組合総務課庶務係に送付すること)

●問合せ・申請先

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号

置賜広域行政事務組合 総務課庶務係

Tel 0238(23)3246

おきたま情報ギャラリー

直江兼続のゆかりの地を巡って

おきたま情報ギャラリーでは、去る10月27日に、直江兼続バスツアーを開催しました。あいにくの雨でしたが、24名の方が参加されました。

当ギャラリー室長の渡藤 英さんがガイドを務め、始めに簡単な講義をしてから、松岬神社、林泉寺、法泉寺、宮坂考古館、直江堤、龍師火帝と、兼続ゆかりの地を巡りました。

このツアーの特徴は、ゆかりの地をバスで移動する際に、市内の町割りほとんど昔のままであるため、わざと道幅の狭い旧町を通りながらまちづくりの説明を受けることで、兼続がどのように城下を築いたのかがよくわかることです。

参加者からは、兼続がその知識や経験で人々を守っていき、人々のために尽くそうという思いで、軍事、土木、商業、学問とあらゆる面から米沢市の基礎を築いたことがよく理解できたという声を多数いただきました。



直江堤にて



おきたま情報ギャラリーとは

「おきたま情報ギャラリー」は、本組合の「ふるさと再発見事業」を推進するため、平成17年から2年間、置賜地域の住民16名で組織し活動した「おきたま座談会」委員の有志10名で構成され、19年4月に発足しました。

活動内容として、ホームページ「置賜探検隊」を開設して置賜地域の見どころやうまいものを紹介する情報発信事業、また、左記のようなイベント活動などを行っています。

ぜひ一度、ホームページをご覧ください。

URL: <http://ckitan.com>

雪灯り回廊まつりを開催します

雪灯り回廊まつりは、冬の長井を楽しもうと有志が企画し、5年前から開催しています。市民手作りのランタンや雪像が市内のあちらこちらに立ち並び、幻想的な風景が楽しめます。あったかいメニューをそろえた売店や、様々なイベントを用意して皆さんのおいでをお待ちしています。ローソクの温かな灯りの中を、恋人同士でロマンチックに、家族でほのぼのと歩いてみませんか。

- 期 日 平成20年2月2日(土)
- 場 所 長井市内(中心市街地)
- 問合せ先 ながい雪灯り回廊まつり実行委員会
(長井市商工観光課内)
Tel.0238(84)2111 内線613



11月議会定例会を開催

本組合11月議会定例会が去る11月15日に開かれました。

この議会では、平成18年度一般会計及び特別会計決算が原案どおり承認されました。

また、平成19年度一般会計補正予算が原案どおり可決されました。

たかはた冬まつり

「第7回まほろば冬味きぼたんまつり」

雪の中に咲かせた「春の大輪ぼたん」をご観賞ください。

- 期間 2月1日(金)～11日(月)10時～20時
- 会場 高島町太場館〔主会場〕
高島ワイン・よねおりかんこうセンター・米鶴酒造・ASEジャパン・道の駅たかはた・昭和縁結び通り商店街・まほろば通り商店街・片舎通り商店街
- 問合せ先 高島町観光協会
Tel.0238(57)3844

置賜広域行政事務組合平成18年度決算報告

本組合の平成18年度決算が11月の議会定例会で承認されました。内容をお知らせします。

一般会計

〔歳入〕

3市5町からの分担金	32億9,598万0,133円
使用料及び手数料	7億6,838万3,637円
財産収入	4,353万0,857円
寄附金	100万0,000円
繰入金	116万6,050円
繰越金	5,212万1,539円
諸収入	813万2,009円
組合債	4,550万0,000円

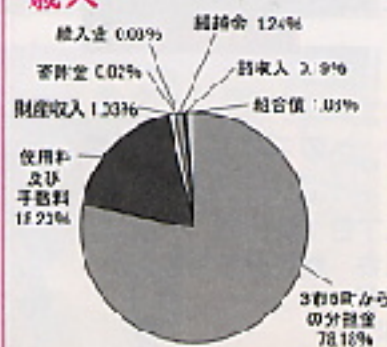
このお金は以下のように使われました。

〔歳出〕

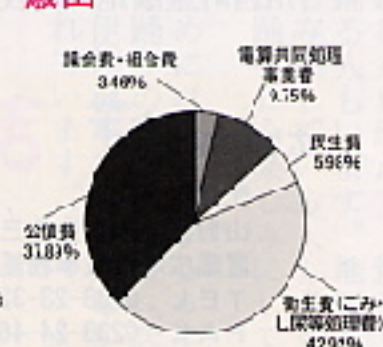
議会費・組合費	1億4,461万2,986円
電算共同処理事業費	1億0,724万3,067円
民生費	2億4,982万1,143円
衛生費(ごみ・し尿等処理費)	17億9,241万1,330円
公債費	15億8,268万6,402円

歳入総額	42億1,580万4,225円
歳出総額	41億7,677万4,928円
平成19年度への繰越額	3,902万9,297円

歳入



歳出



ふるさと市町村圏事業費特別会計

〔歳入〕

財産収入	183万3,144円
繰越金	1,158万2,873円

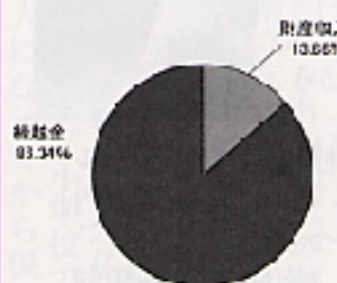
このお金は以下のように使われました。

〔歳出〕

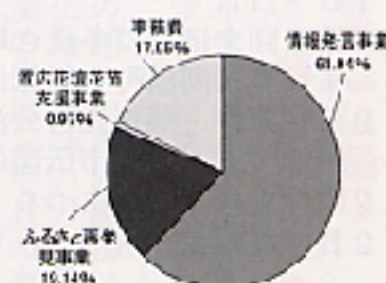
広域的交流活動の促進	
・情報発信事業	180万3,496円
・ふるさと再発見事業	55万7,161円
広域的人材の育成活用事業	
・置広花壇花苗支援事業	2万8,179円
事務費	52万2,713円

歳入総額	1,341万6,017円
歳出総額	291万1,549円
平成19年度への繰越額	1,050万4,463円

歳入

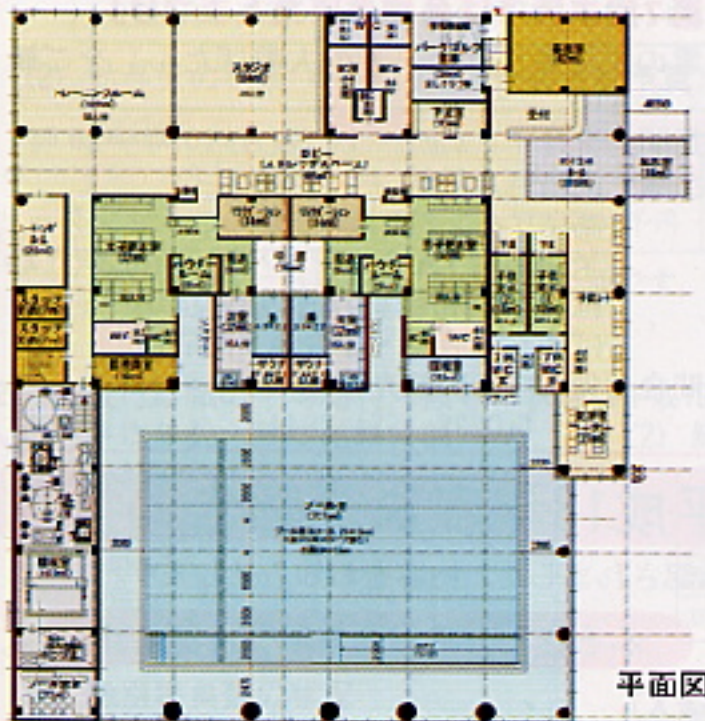
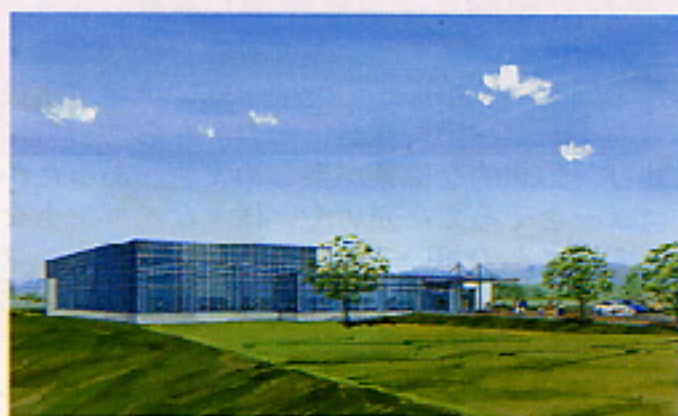


歳出



広域交流拠点施設の整備について

本組合では、屋内温水プール(ごみ焼却余熱を利用)とパークゴルフ場を中心とした「広域交流拠点施設」を高畠町の千代田クリーンセンター隣に建設します。この施設は、置賜地域住民の交流・健康・環境を柱とし、皆さんの幅広い利用を目的に整備します。現在は実施設計を行っており、本年5月着工、21年4月開館予定です。



おきたまごよみ

1月(睦月)

- 17日 笹野観音初十七堂祭
(米沢市笹野観音境内)
- 20日 スノーシュー体験会
(川西町浴浴センターまどか付近)
- 23日～25日 第26回つる細工講習会
(小国町国民宿舎飯豊梅花皮荘)
- 25日 亀岡文殊星まつり (高畠町亀岡文殊)
- 26日 親子で楽しむクラシック
～フルートとピアノのコンサート～
(米沢市伝国の杜置賜文化ホール)



2月(如月)

- 1日～11日 第7回まほろば冬咲きばたんまつり (高畠町太陽館ほか)
- 2日 万作・萬斎狂言公演
(米沢市伝国の杜置賜文化ホール)
- 2日 雪灯り回廊まつり (長井市内)
- 2日 なんよう雪灯かりまつり
(南陽市赤湯駅前)
- 9日～10日 第31回上杉雪灯籠まつり
(米沢市上杉神社・松が岬公園一帯)
- 9日～3月9日 国宝「上杉家文書」の世界Ⅲ
(米沢市上杉博物館)
- 10日 東北学生音楽祭
(川西町フレンドリープラザ)



- 15日 ホフイトフェスタ2008
(米沢市東京第一ホテル米沢)
- 24日(予定) 中津川雪祭り
(飯豊町中津川小・中学校)
- 24日 ウィンタースポーツ大会
(小国町横根スキー場)
- 下旬 春待ち雪見の宴
(川西町浴浴センターまどか付近)

3月(弥生)

- 8日～9日 雪の学校 (小国町五味沢地区)
- 9日 子ども演劇教室定期公演
(川西町フレンドリープラザ)
- 19～20日 こまつ区「人間合格」
(川西町フレンドリープラザ)
- 23日 こども狂言クラブ～春休み発表会～
(米沢市伝国の杜エントランス能舞台)
- 29日～30日 玉庭ひなめぐり
(川西町玉庭地区内民家)



広域広報 **おきたま** へのご意見・ご感想

〒992-0012
 山形県米沢市金池三丁目1番55号
 置賜広域行政事務組合 総務課企画係
 TEL: 0238-23-3246
 FAX: 0238-24-4659
 E-mail: kikaku@okikou.or.jp